

TOKYO

CURIOSITY

東京好奇心

2018 - 2020

PARIS BERLIN TOKYO

パリ、ベルリン、東京。三都をめぐる写真物語

東京画

DESCRIBING TOKYO SCAPES
BY 100 PHOTOGRAPHERS

東京好奇心

2018-2020

パリ・ベルリン・東京



欧米人の視線を通すと、日本文化はあらゆる意味で自分たちのそれとは異なって見えるようです。しかし実際に日本の歴史を振り返ると、日本社会はその発展、ライフスタイルの変化において、常に海外からの様々な影響を受け続けてきました。日本列島の中心に位置する首都、東京。その独自のカルチャーも多様な影響を受けることで、時間をかけて徐々に変化し、形づくられてきたものです。

渋谷は、そんな東京の本質が色濃く現れたエリアです。渋谷の多面的な表情の中には、日本文化のコントラストやパラドックス、独自の魅力やエキゾチズムが凝縮されています。その一方、渋谷はパリやベルリンにも当てはまる世界都市・東京の特質もしっかり備えています。先祖から引き継いできた伝統や遺産、多様なカルチャーや近代性、さらにサブカルチャーも共存し、実験やクリエーションを醸成するダイナミックな環境が存在するのです。東京オリンピック・パラリンピックが目の前に迫った2018年、『TOKYO-GA』は今年1月の、渋谷 Hikarie での展覧会を皮切りに3年間にわたる世界巡回の旅をスタートしました。

『東京好奇心 2018-2020』展は、SHIBUYAをテーマに、この街のユニークな魅力と可能性を世界と分かち合いながら、2018年11月のパリ、2019年のベルリンを経て、2020年の夏に東京に戻って参ります。

『東京画』に寄せて

世界中のどの街にもない風景、都市の情景、垂直と水平のリズミカルなシンフォニーを奏でる東京メガロポリス。その絶妙な魅力、パワーとヴァイブレーションを「東京画」は見事に表現してくれることでしょう。

リシャルド・コラス
シャネル株式会社 代表取締役社長

おそらく未来とは、圧倒的なスケールや明解なかたちをもってではなく、ごく少しずつ、だが確実に、現在に、この現実の空間に入り込んでくるものに違いない。中でもこの未来が最も入り込みやすい場所、居つきやすい空間が東京という街なのではないだろうか。建物はそこに建っているにもかかわらず、無いようにも見え、空気のひとつの形、色、現象としての風景が存在する都市空間。僕たちは知らず知らずのうちに、毎日少しずつ未来の空気を吸い、その色に染まっていつている。「東京画」の写真を見ると、僕たちははっと気づく。こうやって優しく未来を受け入れる東京の寛大さに。そう言えば、自分が小さいころ見ていた東京の風景も、同じような優しい空気に包まれていた。写真が切り取る東京の今と未来。「東京画」、東京を応援したい僕たちにとって素晴らしい企画です。

齋藤峰明
シーナリーインターナショナル株式会社 代表／元エルメスインターナショナル 副社長

優れた感性と卓越した技術を持つ100人の写真家が、躍動する東京の多様な姿、かたち、魅力、ライフスタイルを写し取り世界に向けて発信する「東京画」。本プロジェクトは、世界を引きつけてやまない普遍的な価値となる可能性を秘めています。東京画は東京の意味を書き変える、輝く希望の光となるでしょう。

田中正人
工学博士／東京大学名誉教授





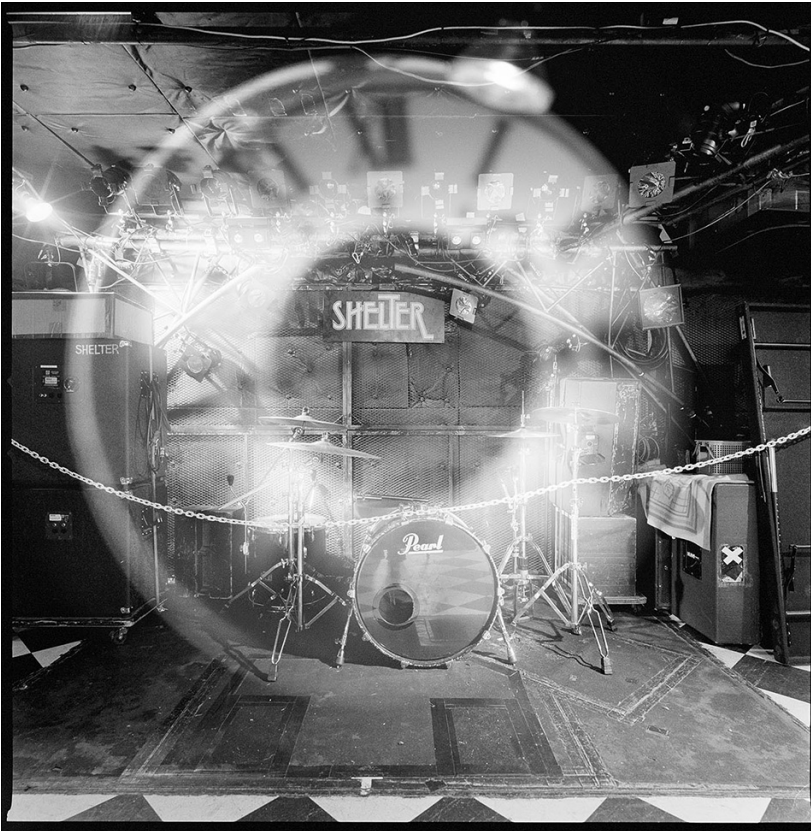


















| プロジェクト概要 |

写真を通じた国際文化交流事業を世界各地で実施してきた NPO 東京画は、オリンピック・パラリンピック・イヤーの 2020 年、渋谷区および東急グループとの協働により、渋谷周辺の都市空間をエキジビション会場に変え、東京の現在を地域住民や来街者と共有するアートイベントを展開します。本企画には国内外の写真家総勢 100 名が参加し、世界文化都市・東京の魅力とヴィジョンを写しとり、来街者との対話を通して新たな都市の可能性を見つけ出す機会を創造することを目的としています。100 名の参加写真家たちはその知名度、国籍、年齢、性別など一切問われることなく、東京の可能性と潜在力を見つけ出し、それを表現するクリエイティビティを元に起用され、今後、東京が新しい才能に活躍の舞台を与える場所としています。

2020 年にメイン会場を渋谷文化村とする展覧会と街全体をアート空間に変える『TOKYO CURIOSITY』に先立ち、東京画はこの精神と目標を広く世界に知らせ、そのゴールを共有するべく、芸術の都として圧倒的な発信力を持つパリ、人口の過半数をアーティストにすることで、どのような都市が形成されるのかという巨大な実験を推進するベルリンで、それぞれに現地のパートナーと協働し、展覧会を開催し、世界の期待と信頼を得ながら 2020 年を着実に迎えます。

展覧会 1 会期： 2018 年 1 月 2 日～1 月 8 日 * 終了
 会場： 渋谷 ヒカリエ

展覧会 2 会期： 2018 年 10 月 18 日～11 月 17 日
 会場： パリ 4 区市庁舎

展覧会 3 会期： 2019 年 1 月～2 月 (調整中)
 会場： ル・カルーゼル・デュ・ルーブル

展覧会 4 会期： 2019 年初夏
 会場： ベルリン (調整中)

展覧会 5 会期： 2020 年 6 月 1 日～6 月 30 日
 会場： 文化村 ザ・ミュージアム
 渋谷区内各地でアートインスタレーションを計画中

TOKYO CURIOSITY

-4 Keynotes-

IDENTITY

自己認識

私たちは何者か？

自分をどのように定義し、他者にそれを認識させることができるか？

DIVERSITY

多様性

世界に共存する多様な価値や規範とどのように向かうか？

自然環境・文化・宗教・習慣・ライフスタイル

HERE AND NOW

今という時間

今を生きる意味とは？

現代社会の身体感覚と調和する価値観や美意識

TIMELESSNESS

時代を超えて

永遠に色褪せることのない精神の有り様とは？

伝統や文化を継承させる真髄

1 『 TOKYO CURIOSITY by 100 photographers 』

参加写真家による巨大コラージュ作品

渋谷ヒカリエでは100点の作品でスタートした本作品はパリでは200点に、ベルリンでは300点に、そして東京では500点へと発展してゆきます。



渋谷ヒカリエでの展示風景より



渋谷ヒカリエでの展示風景より

2 『The Moving Photography by TOKYO-GA』

参加作家の作品をスライドショー形式の『The Moving Photography by TOKYO-GA』とし、作家の個別の作品を壁面に映写します。参加作家は都市毎に異なるキャスティングとなりの、『TOKYO CURIOSITY』のオリジナルな物語を紡ぎ出します。



渋谷ヒカリエでの展示風景より

3 『La Librairie Imaginaire by 100 photo books』 (空想の本棚)

参加作家の100冊の写真集を選びすぎり、会場内でお気に入りのページに書き込みをしていただき、オーディエンスとのコミュニケーションがアナログで迎えるシーンを作ります。

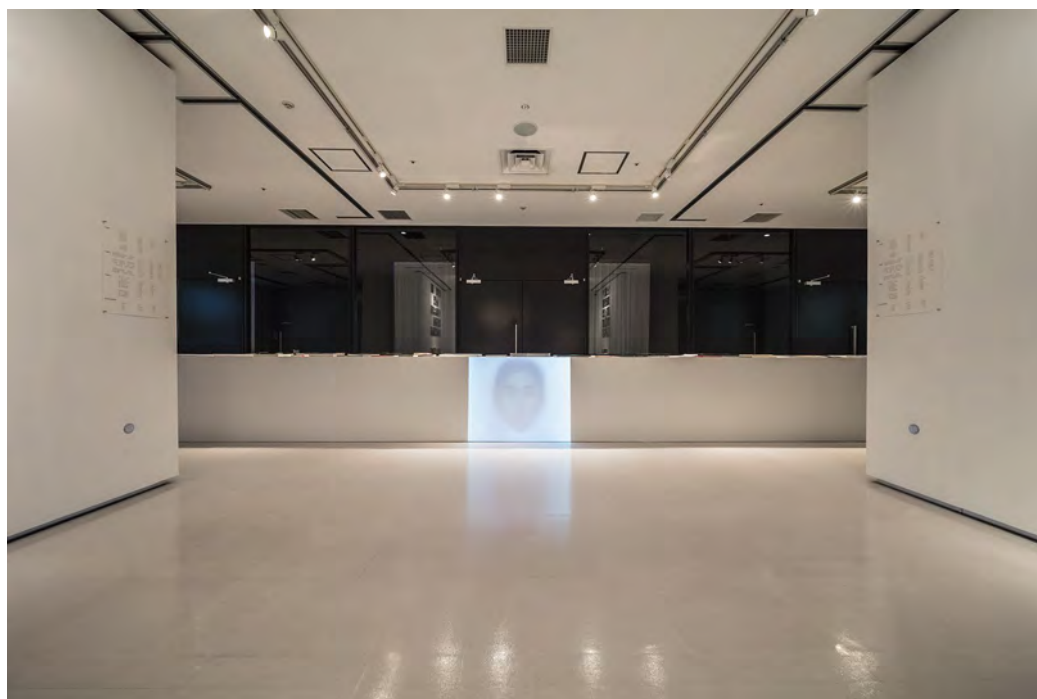


渋谷ヒカリエでの展示風景より

4 テーマ展示『IDENTITY』 & 『DIVERSITY』

個々人のアイデンティティーと地球の多様性を原点から考えるテーマ展示

Featuring Photographers: 瀧本 幹也 (Mikiya TAKIMOTO) & 山田祐基 (Yuki YAMADA)



『IDENTITY』 渋谷ヒカリエでの展示風景より



『DIVERSITY』 (Flame Surface の展示より)

5 オリジナルプリントの展示

各都市にふさわしい作家によるファインアートプリントの展示

6 タブロイド／カタログの出版と配布

7 ワークショップとコンファレンスの開催

workshop | 『私たちは何処から来たのか?』

各都市でこどもたちを対象とした『INDENTITY』を考える写真を使ったワークショップを開催

conference | 『都市を考える』

アーバニズム、都市生活における未来のライフスタイルをテーマに写真を

起点とする思考のフォーラムを企画し、活発な意見交換ができるオープンフォーラムとする。

世界各地の展覧会会場とその位置づけ

Paris | 2018年10月18日～11月17日

4th City Hall in le Marais



ジャポニスム 2018と連動しての『東京パリ文化タンDEM 2018』の公式プログラムとして

パリ4区市庁舎内で展覧会とカンファレンスを開催

| オープニングレセプション |

2018年10月18日

TOKYO
-GA
meets
PARIS 2018



Salle Jean Mouly | 一階展示室

Mairie du 4ème arrondissement
2, place Baudoyer 75004 Paris

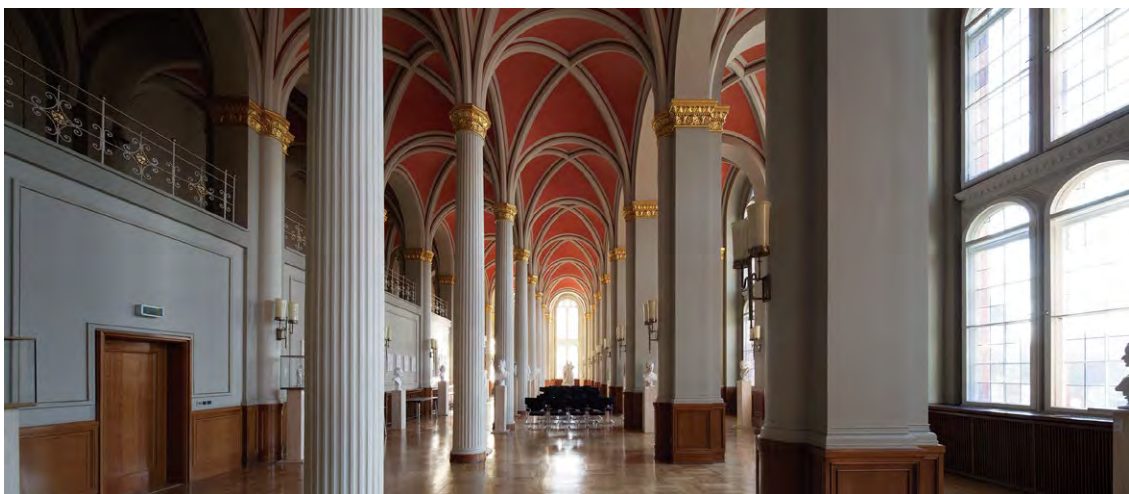
展覧会を開催すると同時に、会期中に市庁舎内の小会堂と大会堂での
コンファレンスと映像上映会を計画中

TOKYO -GA *meets* BERLIN 2019

Berlin | Spring 2019

Main venue | Das Berliner Rathaus

メイン会場 | ベルリン市庁舎



メイン展覧会として・オープングレセプション・写真集の展示
ベルリン・東京友好都市 25 周年記念行事として準備中

Conference & Talk Session venues | Japanisch-Deutsches Zentrum Berlin

ベルリン日独文化センター



ドイツの政・財・学界をカバーしたメンバーを擁する日独の文化交流を推進することを目的とするセンター。テーマ性の高いグループ展の開催とコンファレンスを開催予定

TOKYO -GA *meets* SHIBUYA 2020

TOKYO | 2020年6月

メイン会場 | Bunkamura 文化村・ザミュージアム



写真を通じた国際文化交流事業を世界各地で実施してきた NPO 東京画は、オリンピック・パラリンピック・イヤーの 2020 年、渋谷区および東急グループとの協働により、既存の概念を打ち破り渋谷周辺の都市空間や交通機関のスペースをエキジビション会場に変え、東京の現在を地域住民や来街者と共有するアートイベントを展開します。

本企画には国内外の写真家総勢 100 名が参加し、世界文化都市・東京の魅力とヴィジョンを写しとり、来街者との対話を通して新たな都市の可能性を見つけ出す機会を創造することを目的としています。

UNIQUE COMMUNICATION 1

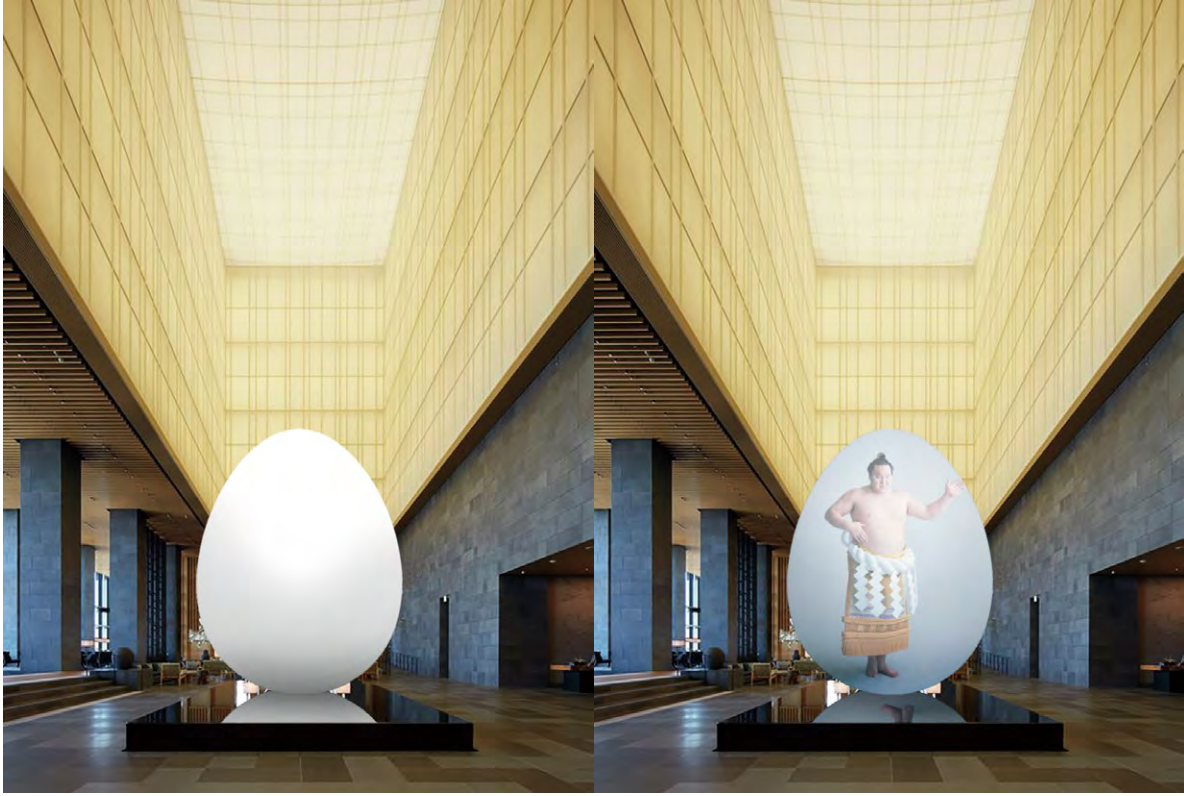
Imaginary Trip between Paris, Berlin and Tokyo



渋谷区内に随時、期間限定で『TOKYO CURIOSITY EGGS』を設置。

パリやベルリンで開催中の展覧会の模様がエッグからバーコードへのアクセスで配信されます。

2020年には渋谷区内各所に設置される2020個のCURIOSITY EGGに画像が現れ、
文字や写真そしてWebと連携します。



UNIQUE COMMUNICATION 2

| タブロイド版のフリーペーパー『東京好奇心』を発行・配布 |

パリ、ベルリン展覧会会場でタブロイド判を配布

| 現在想定する部数 |

PARIS 展 | 5,000部 / 8ページ * フランス語 + 英語 + 日本語

Berlin 展 | 10,000部 / 12ページ * ドイツ語 + 英語 + 日本語

東京展 | 20,000~30,000部 20ページ * 日本語 + 英語

FOREST AMONG US PRESS SEEDS SPECIAL ISSUE

FOREST AMONG US

Established in September 2010

自分自身が生きている時代、場所、そしてそこに流れる時間、
「写真」を介とし、今を生きているという事実に向き合い、
その意味と価値を共有するアートプロジェクトです。

「FOREST AMONG US」の活動とは
「私たちの中心を森」として自然の中で生きていく才能や可能性、現在を生きる
多様な環境を少しでも多くの人に知ってもらうこと、そして、その環境や場所の歴史や文化を共有し、
「森」という言葉がもたらす多様なイメージやそれぞれの場所の歴史や文化の歴史を共有し、
アートの中で、自分たちの場所や環境を表現し、そして未来の未来を切り拓いていくプロジェクトです。
開催地、ワークショップ、グループセッションの開催、出版やイベントの企画、展覧会や活動のサポートセッションを通じて
より多くの人々の関心や参加を促すことを目指しています。

forest-among-us.com



FOREST AMONG US サポートサークル募集します

FOREST AMONG US (FAMU) は、世界中に活動している
アートプロジェクトです。
活動の中心は、自然の中で生きていくこと、そして、その環境や場所の歴史や文化を共有し、
アートの中で、自分たちの場所や環境を表現し、そして未来の未来を切り拓いていくプロジェクトです。
開催地、ワークショップ、グループセッションの開催、出版やイベントの企画、展覧会や活動のサポートセッションを通じて
より多くの人々の関心や参加を促すことを目指しています。

活動の中心は、自然の中で生きていくこと、そして、その環境や場所の歴史や文化を共有し、
アートの中で、自分たちの場所や環境を表現し、そして未来の未来を切り拓いていくプロジェクトです。
開催地、ワークショップ、グループセッションの開催、出版やイベントの企画、展覧会や活動のサポートセッションを通じて
より多くの人々の関心や参加を促すことを目指しています。

活動の中心は、自然の中で生きていくこと、そして、その環境や場所の歴史や文化を共有し、
アートの中で、自分たちの場所や環境を表現し、そして未来の未来を切り拓いていくプロジェクトです。
開催地、ワークショップ、グループセッションの開催、出版やイベントの企画、展覧会や活動のサポートセッションを通じて
より多くの人々の関心や参加を促すことを目指しています。

活動の中心は、自然の中で生きていくこと、そして、その環境や場所の歴史や文化を共有し、
アートの中で、自分たちの場所や環境を表現し、そして未来の未来を切り拓いていくプロジェクトです。
開催地、ワークショップ、グループセッションの開催、出版やイベントの企画、展覧会や活動のサポートセッションを通じて
より多くの人々の関心や参加を促すことを目指しています。

FOREST AMONG US PRESS SEEDS SPECIAL ISSUE

FOREST AMONG US PRESS SEEDS

SPECIAL ISSUE

TOKYO-GA × TOKYO PHOTO 2011



FOREST AMONG US PRESS SEEDS SPECIAL ISSUE



MASAYOSHI SUKITA × TOKYO-GA

今、カラーも撮ってはいるけど、まだまだB&Wに拘って自分の世界を追っている。2011年3月11日に東日本で大きな地震災害が起きた。東京で暮らしている自分にもわずかながら内側に変化が起き出した。

SPECIAL INTERVIEW

鋤田正義

鋤田正義 (Masayoshi Sukita) は、1977年東京都生まれ。写真家、作家、アーティスト。1998年に東京大学を卒業後、写真家としての活動を開始。2001年に『東京ガ』という雑誌を創刊し、その中で『東京好奇心』というフリーペーパーを発行。2011年3月11日の東日本大震災以降、自身の作品や活動を通じて、震災後の東京や日本の社会について深く考察し、表現している。

David Bove / Masayoshi Sukita
Interviewed by David Bove
Translated by David Bove
Edited by David Bove
Published by Forest Among Us Press Seeds
© 2011 Forest Among Us Press Seeds
All rights reserved.

FOREST AMONG US PRESS SEEDS SPECIAL ISSUE

TOKYO-GA × TOKYO PHOTO 2011




「東京ガ」は、東京をテーマにした写真集、雑誌、フリーペーパー、アートプロジェクト。2011年3月11日の東日本大震災以降、自身の作品や活動を通じて、震災後の東京や日本の社会について深く考察し、表現している。

「東京ガ」は、東京をテーマにした写真集、雑誌、フリーペーパー、アートプロジェクト。2011年3月11日の東日本大震災以降、自身の作品や活動を通じて、震災後の東京や日本の社会について深く考察し、表現している。

「東京ガ」は、東京をテーマにした写真集、雑誌、フリーペーパー、アートプロジェクト。2011年3月11日の東日本大震災以降、自身の作品や活動を通じて、震災後の東京や日本の社会について深く考察し、表現している。

「東京ガ」は、東京をテーマにした写真集、雑誌、フリーペーパー、アートプロジェクト。2011年3月11日の東日本大震災以降、自身の作品や活動を通じて、震災後の東京や日本の社会について深く考察し、表現している。

「東京ガ」は、東京をテーマにした写真集、雑誌、フリーペーパー、アートプロジェクト。2011年3月11日の東日本大震災以降、自身の作品や活動を通じて、震災後の東京や日本の社会について深く考察し、表現している。

(参考イメージ | 2012年の TOKYO PHOTO の際のタブロイド紙)

3. TOKYO-GA Participating Photographers

Satoshi ASAKAWA, Jean-Michel BERTS, Navid BARATY, Renato D'AGOSTIN,
Michael FEATHER, Stéphanie FRAISSE, Michel FRAPIER, Haruhi FUJII,
Roland HAGENBERRG, Mikio HASUI, Tatsuya HIRABAYASHI Kenji HIRASAWA,
Taishi HIROKAWA, Tomoki HIROKAWA, Minoru HOHTSUKI, Naoki HONJO,
Noriyoshi HOSAKA, Rie ISHISHIA, Kimiko ISHIYAMA, Gentaro ISHIZUKA, Keiichi ITO,
Ooki JINGU, Daisuke KAMIMURA, Chiaki KANO, Junpei KATO, Haruna, KAWANISHI,
Everett KENNEDY BROWN, Eriko KOGA, Yasutaka KOJIMA,
Kentaro KUMON, Osamu KURIHARA, Sébastien LEBEGUE,
Steven LEE, Ilse LEENDERS, Martin LEUZE,
Edward LEVINSON, Tomoaki MAKINO, Yoshiko MATSUNAGA, Chihito MINATO,
Muga MIYAHARA, Mamiko MIYAKOSHI, Yuki MORITA, Christopher MORRIS,
Daido MORIYAMA, Kenichi NAGASAKI, Masataka NAKANO, Hiroki KANASHIMA,
Sakiko NOMURA, Katsumi OHMORI, Mitsugu OHNISHI, Ryo OHWADA, Atsushi OKADA,
Atsushi OKUYAMA, Tsutomu ONO, Yuki ONODERA, Daisaku OOZU, César ORDÓÑEZ,
Thomas PRIOR, Bruno QUINQUET, Takehito SATO, Tatsuya SHIMOHIRA, Taku SHINDOH,
Yuki SHINTANI, Vincent SOULIE, Jérémie SOUTEYRAT, Ichigo SUGAWARA,
Masayoshi SUKITA, Takeshi SUMI, Keiichi TAHARA, Mikiya TAKIMOTO, Saori TAO,
Kiyoshi TATSUKAWA, Yukinori TOKORO, Yoshihiko UEDA, Makiko UI, Kikuko USUYAMA,
Louise Claire WAGNER, Kazuhiko WASHIO, James WHITLOW DELANO, Michael WOLF,
Celine WU, Yuki YAMADA, Herbie YAMAGUCHI, Masami YAMAMOTO,
Naomi YANAGIMOTO, Alao YOKOGI and Guenter ZORN,

Nationality:

American, Austrian, Chinese, English, French, German,
Italian, Japanese, Malaysian, Spanish and Swiss.

| May 2018 |

東京画 | 組織

| TOKYO-GA BOARD MEMBER |

理事長・チーフ・キュレーター	太田 菜穂子	株式会社クレイ・インク 代表取締役
理事	杉山 恒太郎	株式会社 ライトパブリシティ 代表取締役社長
理事	田中 正人	東京大学 名誉教授
理事	ギュンター・ツォーン	日本板硝子株式会社 社外取締役・取締役会議長

| 事務局 |

柿木原 政広	アートディレクター
山口 誠	建築家
藤木 洋介	キュレーター
池末 浩規	
鷺尾 和彦	

| 《東京画 TOKYO CURIOSITY》 Advisory Board |

リシャル・コラス	シャネル株式会社 代表取締役社長 欧州ビジネス協会会長
アンドレアス・ドンブレッド	前ドイツ連邦銀行理事 (現在、クーリング期間)
クリストフ・ジラル	パリ市 副市長
カリン・カウフマン	ライカ・インターナショナル ギャラリー・アートディレクター
松崎正年	コニカミノルタ株式会社取締役兼取締役会議長
サラ・ムーン	写真家
野本弘文	東京急行電鉄株式会社 代表取締役会長 東急グループ会長
齋藤峰明	シーナリーインターナショナル株式会社 代表 / 元エルメスインターナショナル 副社長
カール・ハンス・フォン・ヴェアテルン	駐日ドイツ連邦共和国特命全権大使

| 東京画事務局 |

107-0054 東京都港区赤坂 8-12-25-401 KLEE INC 内

Tel: 03-5410-1277 Fax: 03-5410-1278

Mail: info@tokyo-ga.org

東京画公式サイト

www.tokyo-ga.org/top.html